

新西町内会広報

発行 平成26年7月
発行責任者 小関 日出男

第57回新西町内会子どもみこし 7月21日開催

☆ 御祝儀ありがとうございました ☆

海に入りたくなるような暑さになった21日、総勢百五十名余りが集い、子どもみこしが町内中を練り歩きました。今号では、その様子を特集しました。

みこし巡行に当たり、まず幼児、小学、中学の三グループに別れて記念撮影が行われました。

次に三吉神社による神事があり、各代表による玉串奉奠。最後の小野寺実行委員長に合せて全員で参拝を行いました。

巡行式の挨拶では、岡本町内会長から、「聖園中学校最後のみこしです。来年度以降も出てくれると大変ありがたい。若い力を町内の



巡行式の様子



婦人部によるお土産づくり

おじさんや、おばさんに分けてください。」と、小野寺実行委員長からは「ワッショイの大きな掛け声を響かせ町内に元気を届けてください。」などと、それぞれお話がありました。

巡行式の終了後、藤田青少年部長の指導で隊列が作られ、子どもたちは元気よく町内へと出発していきま

した。

感謝状の贈呈

式場をお借りして今年で20年になるのを記念し、株式会社NIPPON様に感謝状が贈られました。



本隊みこし巡行の様子

玉串奉奠をした小学生代表の話

「手を打つのは一回と聞いていたが、急に二回になつてとても緊張した。」

隣の町内にもかかわらず、お賽銭を入れていた人の話「こっちの神輿はいつも元気がだから、いいよね。」

幼児隊もガンバったね

乳母車に乗って参加した11か月の朝陽（あさひ）くん他10余名は、それを上回



総延長約2kmの長い道のりを新西クラブに率られる幼児隊

聖中樽みこし

気付かれた人もいるかと思いますが、聖園中の閉校を受け「聖中樽みこし」が作られ、例年より一つ多い神輿が「ワッショイ」を届け歩きました。



聖中樽みこしを中央に三基のみこし

る付き添いのお父さん、お母さんの心配をよそに最後まで歩き(?)通しました。休憩所でジュースを飲んでいた女の子の話「(指を広げて4歳なの。ワッショイ」とジュースがあるから参加したの。名前前は「あんな」兄に付いて5か月のときから毎年札幌から来ていると、付き添いのお母さん。あどけない笑顔が印象的でした。

聖中樽みこしには、「中央に行っても輝け聖園魂、負けない、泣かない、くじけない」などの思いが短冊に書き込まれ飾られています。本隊は、例年より30分も遅れて到着しました。多分、これは聖園中学校で最後のみこし担ぎで気合いが入ったからなのでしょうね。

町内会への寄贈について (平成26年7月分)

1. ミニみこし(模型) 7条西5 酒本 仁 様
2. 幼児用はんてん 2着 4条西5 駒形屋 様

※交通事故にご注意を!

過日、聖園中学校付近で車と自転車の接触事故がありました。

編集後記

参加者は、婦人部からお土産の大きい袋をもらい嬉しそうに帰っていきました。が、それからが大変。いつものことですが、テントや囃子車の解体、太鼓の片付けなど。しかし、何日も掛けた準備を元に戻すのは一時のこと。いずれにしても携わった皆様は、貴重な体験をしたことでしょう。(小関)